

速 報

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

平成16年度病害虫発生予察速報第4号について

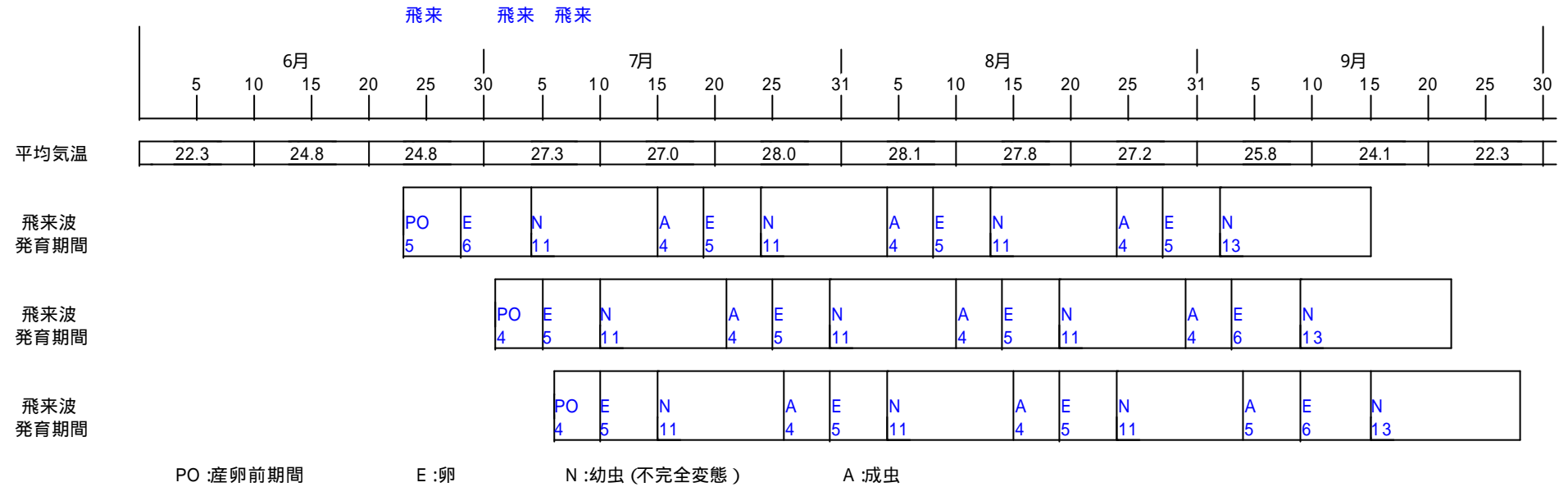
このことについて、以下のとおり送付します。

平成16年度病害虫発生予察速報第4号

- 1 対象作物 水稻
- 2 病害虫名 海外飛来性害虫
(セジロウンカ、トビイロウンカ、コブノメイガ)
- 3 発生予想パターン
海外飛来性害虫のほ場での発生予想パターンは、別紙 ~ の通りである。
- 4 飛来の状況等(7月16日現在)
 - (1) 飛来は、6月24~26日(飛来波)、7月2~4日(飛来波)及び6日(飛来波)に確認された。主要な飛来は6月24~25日と考えられる。
 - (2) セジロウンカのネットトラップ(筑紫野市)での捕獲虫数は、6月3半旬~7月2半旬の間に13頭(平年:70.5頭、前年:189頭)で平年・前年より少ない。また、7月2半旬調査の結果、ほ場での発生は平年より少なかった。
 - (3) トビイロウンカは、筑後市及び遠賀町の予察灯で6月28日、7月6日及び7月8~9日に確認された。
 - (4) コブノメイガは、筑後市の予察灯で7月6日に確認された。
- 5 防除上注意すべき事項
 - (1) トビイロウンカは密度が高くなると坪枯れを発生させることがあるので、ほ場での発生状況の把握に努め、要防除水準(平成15年度普通作病害虫防除基準)を参考に防除を実施する。
 - (2) コブノメイガに対する薬剤防除の効果は若齢幼虫期(発蛾最盛期の1週間後)が最も高い。

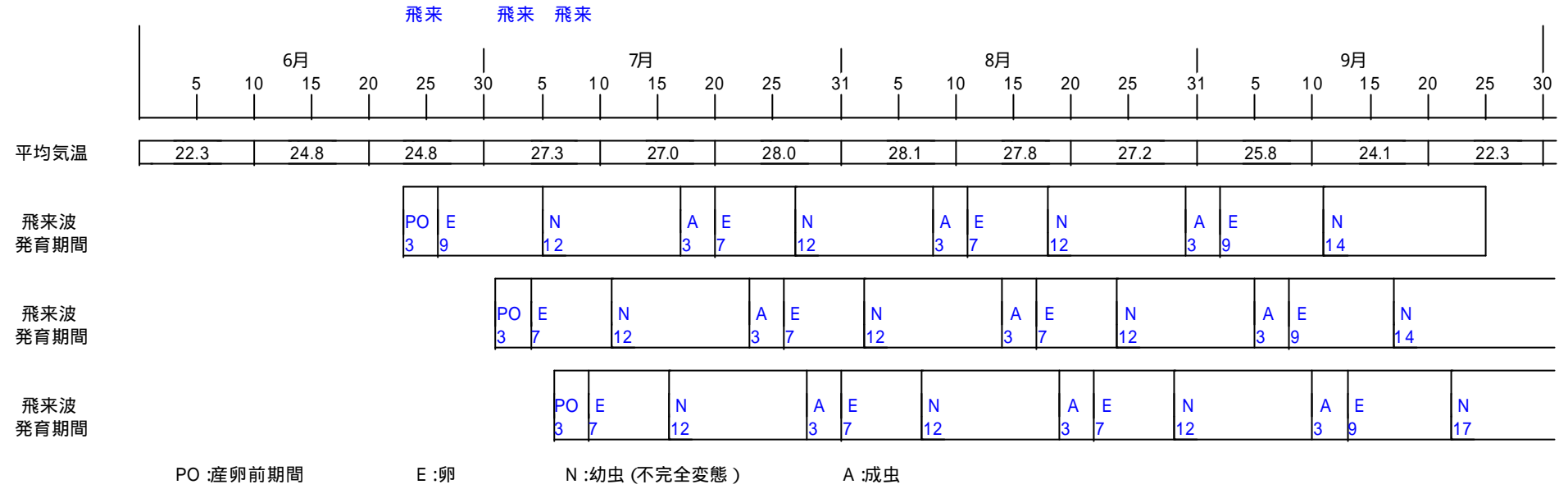
別紙

平成16年度 飛来に基づくセジロウシカ発生予想パターン図



別紙

平成16年度 飛来に基づくトビロウカ発生予想パターン図



別紙

平成 16年度 飛来に基づくコブノメイガ発生予想パターン図

